※令和４年度以降入学生用

学校番号	322

令和５年度　国語科

教科	国語科	科目	文学国語	単位数	２単位	年次	２年次 （普通科）
使用教科書	新編文学国語　（大修館）						
副教材等	ことのは（いいずな書店）、クリアカラー国語便覧（数研出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・主に文学的文章を読み、人間・社会・自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにし、生涯にわたって読書に親しむ態度を形成します。
・演劇、映画、古典作品など扱う教材は多岐にわたり、多面的に文学作品を捉えて読解します。
・家庭学習における課題については、定期的に提出を要します。そのため計画的に学習を進めていきましょう。また、授業時には板書事項だけでなく気づいた点や気になった点を書きとめ、主体的に授業に参加するようにしましょう。

２　学習の到達目標

・深く共感したり豊かに想像したりして、書いたり読んだりする基礎的な能力を養う。
・情景の豊かさや心の機微を表す語句など、文学的文章における文体の特徴や修辞などの表現の技法を理解することができる。
・語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して内容を解釈するとともに、作品の内容や形式について、書評を書いたり、自分の解釈や見解を基にして議論したりすることができる。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生涯読書に親しむ態度を養うための基礎的な知識を獲得することができる。	文学的文章における特徴や表現技法についての理解を深め、書評や批評文、紹介文を書くことができる。	近代以降の文学的文章だけでなく、古典における文学的文章や近代以降の文語文等多様な文学的文章を読み、豊かに想像することができる。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
一学期	文学的文章に触れ、登場人物や場面設定を思い描きながら読解を深める。 ［教材］ 「少なくとも最後まで歩かなかった」村上春樹 「ナイン」井上ひさし	a：文学的文章の読み方を理解し、内容を正しく読解することができている。 b［　読　］：登場人物の心情や場面設定を思い描き。想像して読むことができている。 c：登場人物の心情を理解し、共感的に読解することができている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 提出物 定期考査	ワークシート 振り返りシート
	詩歌を読み、作者の心情を正しく読み取るとともに、詩歌に用いられる効果的な修辞法を学ぶ。 ［教材］ 「道程」高村光太郎 「小景異情」室生犀星 「永訣の朝」宮沢賢治	a：詩歌の修辞法を正しく理解し、作者の心情を読み取ることができている。 b［　書　］：自身の体験や意見を基にして詩歌を作ることができている。 c：効果的な表現技法を積極的に用いた詩歌を作成し、伝え合うことができている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 提出物 定期考査	ワークシート 振り返りシート
二学期	古典における文学的文章を読み、現代との心情の異同について学ぶとともに、正しく古典的文章を読む力を養う。 ［教材］ 「かぐや姫の昇天」 「月やあらぬ」 「行く河の流れ」	a：古典文法や古典常識を踏まえ、正しく古典における文学的文章を読むことができている。 b［　読　］：古典における文学的文章を正しく読解した上で、現代との心情の異同についてより深く考え、伝え合うことができている。 c：登場人物や作者の心情に言及しながら、古典における文学的文章を深く読解することができている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 提出物 定期考査	ワークシート 振り返りシート
	文学的文章の名作を読み、場面展開や心情・情景描写を読み取るとともに、作品の感想を共有し伝え合う。 ［教材］ 「山月記」中島敦	a：文学的文章の名作を読み、作品に用いられている様々な表現技法について理解を深めることができている。 b［　読　］：作品の感想を、登場人物や作者の心情に言及しながら伝え合うことができている。 c：他の文学的文章の名作に触れ、名作と呼ばれる作品に共通する文学的価値について理解を深めている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 提出物 定期考査	ワークシート 振り返りシート
三学期	社会と文学との関係性を理解し、語り手の視点や文体に着目しながら文学的文章を味わう。 ［教材］ 「鞄」阿部公房 「その日東京駅五時二十五分発」西川美和	a：文学的文章とその背景にある社会についての関係性を的確に捉え文章を読み進めることができている。 b［　書　］：社会と文学との関係について自身の意見をまとめ、論ずることができている。 c：語り手の視点や文体などの視点から文学的文章を読み進めることができている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 提出物 定期考査	ワークシート 振り返りシート
	恋という人間の諸相を、時代を超えた作品群を通して捉え、自身の体験と重ねながら表現する。 ［教材］ 現代の恋、近代の恋、古典の恋	a：　作品群の各々の作品に共通する人間の心情に気づき読解することができている。 b［　書　］：自身の意見を基にし、簡単な文学的文章として叙述することができている。 c：様々な表現技法を効果的に用いながら自身の意見を文章にして表現することができている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 提出物 定期考査	ワークシート 振り返りシート

※表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準［ｂ］について…括弧内には［　話／聞、書、読　］のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

※令和４年度以降入学生用

・話すこと／聞くこと　…　（　　）時間

・書くこと　…　（　20　）時間

・読むこと　…　（　50　）時間